高校サッカー和歌山大会

28日開幕 32校競う

5校を紹介

第96回全国高校サッカー選手権和歌山大会（県高校体育連盟、県サッカー協会など主催）は、28日に開幕する。32校がトーナメントで優勝を争う。決勝は11月18日。田辺、田辺工業、神島、南部、串本の5校を紹介する。

田辺　粘り強い守りに自信

今夏の県総体でベスト4に入り、3回戦からのシード権を獲得した。3年生は3人が残った。前チームの特長だった粘り強い守りを引き継ぎ、県ジャンプリーグ（1部）では多くの3年生が抜けた夏以降も6位に踏みとどまった。しっかり守って勝つサッカーを目指す。

攻撃の鍵を握るのは前主将のMF森本とMF堀本の3年生で、点が欲しい時にはFWでの起用もある。主将でMFの島田は豊富な運動量による献身的なプレーで、国体予選のメンバーにも選ばれた。守りはDF吉田を中心に、相手のスピードについていける選手がそろった。

中山和監督（37）は「リーグ戦では新チームになってから連敗はなく、粘り強い戦いができたので自信につながった」と手応えを語る。

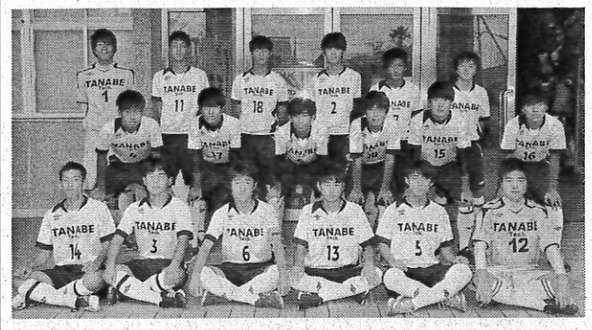
島田海地主将（2年）の話　チームに残ってくれた先輩、引退した先輩、OBや応援してくれているすべての人に優勝をプレゼントしたい。

◇

3年＝稲葉千博、堀本雄太、森本優治▽2年＝大川丈翔、大平雄一朗、谷中輝斗、吉田悠太、前田一槻、島田海地、中本奏汰、中井達哉、山本末玖斗、谷峯諒耶、栗山悠、谷口莞太、東悠仁▽1年＝曲尾渉、宮崎士志、青山泰樹、小川大空、岡内大輔、髙垣裕人、河合祥二郎、田ノ岡杏輔、左海宏明

県ジャンプリーグ＝1部6位▽県総体＝準決勝

田辺工業　全員一丸で上位目指す



メンバーは1、2年生の18人。選手権に向けて白色のサインのユニホームを新調した。メンバーが12人と少ないが、3年生3人全員が残った。休みが終わるまでは2年半、正GKとしてゴールを守った。人数が少ない時はフィールドでもプレーしていたが、チーム事情から選手権を前に正式にDFとなった。

攻撃面では、MFの石橋と木村が起点になる。体が強い柴田もセットプレーで得点に絡む。県ジャンプリーグの最近の試合では守備陣が踏ん張り、海南Bに0―0と引き分け、10人で戦った対市和歌山では1―3と健闘した。チームの雰囲気も良くなり、いい流れを維持して本番に挑む。

花田祥平監督（30）は「守備の時間が長くなるのでしっかり守り、少ないチャンスを生かしたい」と話す。

柴田輝主将（3年）の話　人数が少ないけどチームワークは良い。目標はまず勝つこと。どの相手も格上なので、しっかり守っていきたい。

◇

3年＝越打優、木村剛志、柴田輝▽2年＝伊藤翼、久翔治、小山航生▽1年＝古久保航希、高岸洸斗、合川典佑、柳田金次朗、石橋朋樹、宮本拓海

県ジャンプリーグ＝3部13位（10日現在）▽県総体＝2回戦

神島　チームワークで勝利へ

1、2年生で9人と少なく、夏以降抜けていた3年生が本番までにどれだけ参加できかが勝敗の鍵を握る。

人数は少ないがチームワークが良く、自分たちの意見を言い合える雰囲気をつくっている。一人一人がチームでの役割を自覚し、主体性が出てきた。走り勝つサッカーを目指し、日替わりで3㌔のランニングと200㍍ダッシュ8本をこなしてきた。

主将でチームの軸となるMF小薮が攻撃の芽を摘み、DFの諸田を中心にしっかり守ってカウンターでの得点を狙う。攻撃でも状況判断に優れた小薮が起点になり、ムードメーカーでもあるMF立平がアクセントをつける。

坂下公隆監督（44）は「人数が少ない中、気持ちを切らさずに頑張った選手たちにいい思いをさせてやりたい」と話している。

小薮健太主将（2年）の話　試合ではとにかく失点しないこと。目の前の試合をみんなで全力で頑張る。

◇

3年＝山本大貴、上野昇矢、杉田優馬、新谷夢月、北井翔、山本敬士、小山裕紀、川口大地、杉田幸太郎、向井駿斗、安達悠馬、小田剛▽2年＝佐久間悠真、谷本大輔、諸田響、加原槙之佑、武田賢汰、小薮健太、立平凌輝、和田昌眞、鈴木健佑▽1年＝坂本宗太、羽山幸希

県ジャンプリーグ＝3部12位（10日現在）▽県総体＝3回戦

南部　守備陣踏ん張りいい流れ

メンバーが12人と少ない。主将のDF柴田は、この夏休みが終わるまでは2年半、正GKとしてゴールを守った。人数が少ない時はフィールドでもプレーしていたが、チーム事情から選手権を前に正式にDFとなった。

攻撃面では、MFの石橋と木村が起点になる。体が強い柴田もセットプレーで得点に絡む。県ジャンプリーグの最近の試合では守備陣が踏ん張り、海南Bに0―0と引き分け、10人で戦った対市和歌山では1―3と健闘した。チームの雰囲気も良くなり、いい流れを維持して本番に挑む。

花田祥平監督（30）は「守備の時間が長くなるのでしっかり守り、少ないチャンスを生かしたい」と話す。

柴田輝主将（3年）の話　人数が少ないけどチームワークは良い。目標はまず勝つこと。どの相手も格上なので、しっかり守っていきたい。

◇

3年＝越打優、木村剛志、柴田輝▽2年＝伊藤翼、久翔治、小山航生▽1年＝古久保航希、高岸洸斗、合川典佑、柳田金次朗、石橋朋樹、宮本拓海

県ジャンプリーグ＝3部13位（10日現在）▽県総体＝2回戦

串本古座　メンバーそろい団結

2年生6人、1年生5人と少なく、夏場のリーグ戦ではけがなどで11人がそろわないまま試合をすることがあった。選手権を前に3年生が数人加わり、けが人も復帰してメンバーがそろった。

普段は和気あいあいとした雰囲気で練習しているが、昨年のベスト16以上を目標に最近では目の色を変えて練習している。

攻撃はテクニックがあるFW今村、恵まれた体格で足も速いFW廣瀬で得点を狙う。守備は主将のDF岡村、長身のDF井上らでしっかりと守り、カウンターを狙う。

東芝稔監督（31）は「人数が少なくて苦しい夏を乗り越えてきたので、いい方向へ向かうはず。一つ一つの試合を頑張ってほしい」と選手たちの健闘に期待する。

岡村龍之介主将（2年）の話　中学から一緒にサッカーをやってきたメンバーが多いので仲が良く、団結力ではどこにも負けない。仲間たちと全力で頑張る。

◇

3年＝和田竜矢、谷坂登亜久堀蓮、竹田有輝也▽2年＝潮崎智洋、井上日我、岡村龍之介、吉村海、今村知良、廣瀬海斗▽1年＝小﨑椰海、河田天馬、山本開人、南地蓮太、松原大海

県ジャンプリーグ＝2部10位▽県総体＝3回戦